

研 究 室 紀 要

第 49 号

東京大学大学院教育学研究科 基礎教育学研究室

2023年7月

目 次

《特別寄稿》

- 『地球時代と平和への思想』を書き終えて……………堀尾 輝久 (1)
コロナ禍はヒトという種の生存に何を問題提起しているのか
—「人新世時代」末期のヒューマニズムの驕りと欺瞞— ……………宮澤 康人 (7)
修道院と東京大学との境界に生きて
—第3話 1954年、私たちは18才だった— ……………吉澤 昇 (21)

《研究論文Ⅰ》

- フランス革命期におけるアカデミー批判言説とその廃止の経緯について
……………隠岐さや香 (33)

《研究論文Ⅱ》

- 郷学研究史の沿革と展望……………上野 拓海 (45)
肢体不自由特別支援学校における自立活動の批判的検討
—「自立観」の転換を手がかりに— ……………金成 陽世 (57)
M・フーコーにおける主体概念の关系的性格
—ニーチェ読解を中心に ……………木村綜一朗 (69)
フーコーと「態度」としての啓蒙
—「批判」「理性の公的使用」「未成年状態からの脱却」を巡って— ……………榎桁 祐哉 (81)
自由論—決定論—行為論から見る日常概念の分析
—「既生性」概念の導入を通して— ……………島本 篤 (93)
なぜ高校生平和大使は「政治的」なのか
—ジャック・ランシエールの政治論を手がかりに— ……………高田 春奈 (105)
「新自由主義」的ミュージアム改革への批判をふまえた「フォーラムとしてのミュージアム」論の再考……………田原よし乃 (117)
1950年代の勝田守一における教師の教育研究論の展開
—実践記録の位置づけに着目して— ……………久島 裕介 (129)
価値多元的社会におけるアリストテレス的道德教育論の根本問題
—「幸福な人=有徳な人」の図式と徳を志向・要求することのアポリア—
……………古舘 充斗 (141)
戦後日本の中学校における進路指導をめぐる研究動向と課題
—1960年代までの中卒就職に焦点を当てて—……………増田 涼太 (153)
戦後教育学における反人文・反大正教養主義としての「教養」の提唱
—国民的教養論・共通教養論の整理と課題— ……………松井 健人 (165)
「現代っ子」論の再検討
—1960年代前半の生活指導運動における「都市の子ども」に関する史的考察—
……………渡邊 真之 (177)
小学校社会科における「国際教育」の内容と特徴
—学習指導要領の内容構成と教科書記述の分析を中心に— ……………柳 準相 (189)

《研究ノート》

東京都における学校管理職選考試験制度の導入過程……………佐伯 拓磨 (201)

《翻訳》

コールバーグ以後

——徳倫理学が道德教育と道德的発達の理論へ与えるインプリケーション——

……………デイヴィッド・カー
片山勝茂 [監訳] 中西亮太・古舘充斗 [訳] (211)

《書評》

桑嶋晋平『勝田守一と京都学派——初期思考の形成過程と忘却された思想の水脈——』

……………中村 優 (229)

田中孝彦・田中昌弥・杉浦正幸・堀尾輝久編『戦後教育学の再検討 上・下』

……………松井 健人 (233)

《ゼミ動向》…………… (237)

[大学院] 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ
／隠岐ゼミ／片山ゼミ／大塚ゼミ

[学部] 教育人間学演習／教育臨床学演習／日本教育史演習／文化と教育の哲学
／文系・理系の教育史／価値と教育Ⅲ／教育の臨床現象学

《学位論文一覧》…………… (267)

* 研究論文Ⅱは査読付き。